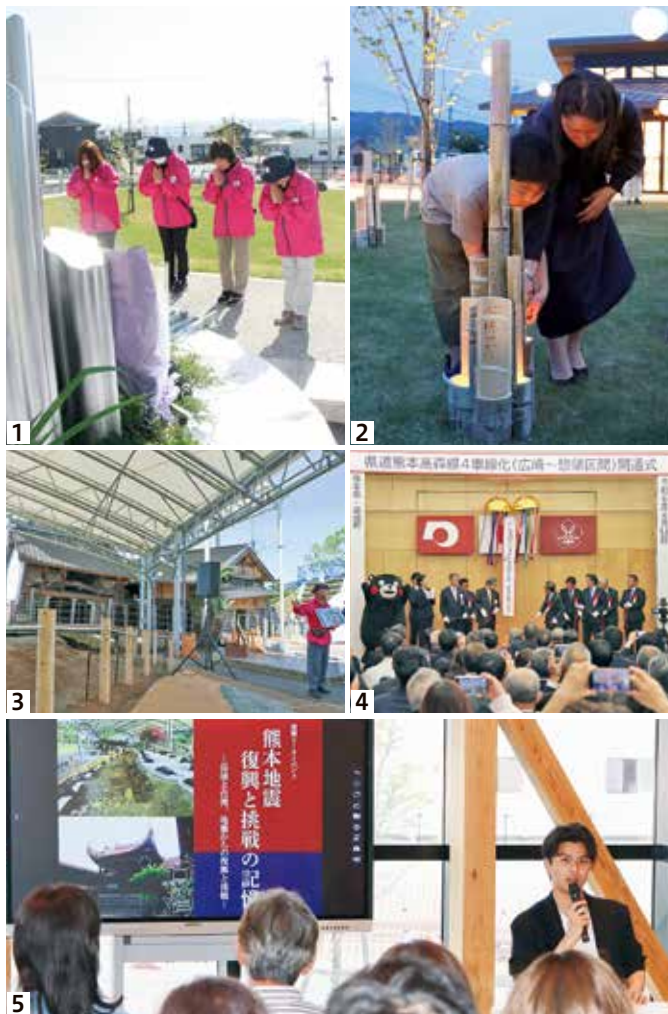


8年目の春 各地で復興を願って

町内各地で追悼行事・復興イベント開催



熊本地震から8年を迎えた4月14日～16日、震災記念公園のモニュメントに献花台が設置され、多くの人々が献花に訪れました。

14日は、午前10時から国天然記念物「布田川断層帯」(谷川地区)落成式を開催。関係者によるテープカットや語り部による断層の説明が行われました。

午後は、グランメッセ熊本で県道熊本高森線4車線化(広崎～惣領区間)開通式、復興まちづくりセンターにじいろうで、台湾にルーツを持つ俳優の朝井大智さんをゲストに招いた復興トークイベント「熊本地震 復興と挑戦の記憶～益城と台湾、地震からの復興と挑戦～」、震災記念公園で熊本地震4.14のつどいが開催されました。

4.14のつどいでは、町造園建設業協会や中学生を含むボランティアの皆さんが制作した竹灯籠に点火。明かりが灯された竹灯籠には「能登に届け」の文字が刻まれるなど、町の復興に加え、能登半島地震や台湾東部沖地震の被災地の復興を願う声が町内各地で聞かれました。

- ① 4月14日、献花し祈りを捧げた語り部の皆さん ② 竹灯籠1つ1つに点火 ③ 布田川断層(谷川地区)落成式で断層の説明をする語り部・村口省三さん ④ 県道熊本高森線4車線化(広崎～惣領区間)落成式 ©2010 熊本県くまモン(撮影日:令和6年4月14日) ⑤ 「益城と台湾」について登壇者と語り合った俳優・朝井大智さん

復興まちづくりを寄付で応援

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

4月15日、町は企業版ふるさと納税で寄付を頂いた株式会社タウン開発(熊本市)に感謝状を贈りました。

熊本市を中心に不動産や土地開発の事業を展開している同社。感謝状を受け取った前田尚毅代表取締役は、「復興も道半ばかと思います。熊本の一企業としてその復興に少しでもお力添えができたかと思っています」と話しました。

寄付金は、にじいろや地域共生センターなど復興まちづくり支援施設の運営や維持に活用されます。



西村町長から感謝状を受け取った前田代表取締役

Pickup Plus+
今月のプラス



3月29日、益城町文化・スポーツ拠点基本構想策定委員会(柿本竜治委員長)が、審議による結果を基本構想としてまとめ、町に答申しました。総合運動公園については「一般町民の利用促進」を、ミナテラスについては「町民視点からの再生」を整備の方針とし、その方針に基づいた新たな機能の導入・改善案を提言しました。